
闘争委員長の決意

東北労働金庫労働組合
闘争委員長 末留 新吾

私たち東北労組は、闘いの基調を、①連合方針ならびに全労金方針を踏まえ、処遇の改善を求める、②ワークライフバランスのとれた働き方を実現し、安心して働き続けられる職場をめざす、③新たな仲間づくりを進め組織強化を図る、の3点とし、2014春闘方針を確立しました。

現在、正職員・契約職員の人事・賃金制度改定協議を進めております。したがって、今春闘では、正職員・契約職員の賃金・一時金に関する項目を春闘要求として掲げ、契約職員の安定雇用の実現、退職金制度の確立、福利厚生制度の格差是正、契約職員の年休・諸休暇の改善、再雇用嘱託職員の諸休暇の改善、は、人事・賃金制度改定協議で改善を求めることとしました。

金庫は、収益の見通しを背景とした経営環境の厳しさを前面に出す交渉が想定されますが、すべての労金労働者の「総合的な生活改善」「安定雇用」「均衡・均等待遇」「公平・公正処遇」を実現し、雇用形態による格差を是正するため、全組合員が一致団結して闘います。